

トピックス

新規加入会社のご紹介

～ 日立化成工業株式会社 ～

～協豊会に新規加入された日立化成工業株式会社殿の自社紹介～

はじめまして。この度、協豊会に加入させて頂く日立化成工業です。

日立化成工業は今年創立 50 周年を迎えます。当社の原点は、1912 年、日立製作所で電気絶縁ワニスの国産化の研究を開始したことに遡り、その年を創業としていますが、今年には創業からも 100 周年という節目の年となります。

日立化成グループの企業スローガンである「Working On Wonders」は、当社企業ビジョンに定めている、「未知の領域に踏み出す勇気とチャレンジ精神を持って時代に先駆けた「新たな価値」を創造することで、お客様と社会の様々な課題に対し、最適解を迅速に提供する」という姿勢を短く象徴的な言葉でまとめたものです。驚きを創り続けるという日立化成グループの宣言です。



～50周年記念広告 羽田空港、成田空港、東海道新幹線のデッキ等に掲出～

そのために日立化成グループは、長年培ってきた材料技術、プロセス技術、評価技術からなる幅広い基盤技術と広範な事業領域を組み合わせ、お客様の課題解決に貢献する「マテリアル・システム・ソリューション (Material System Solution : MSS)」を当社独自のビジネスモデルとして展開しています。そして、今年実施した新神戸電機の完全子会社化を機に、上記の MSS をさらに進化させ、デバイスからシ

システム、アフターサービスまでその範囲を拡大していきます。

日立化成グループの製品開発を支えているのは、絶縁ワニス、積層板、絶縁ガイシ、カーボンブラシなどの4つの源流製品から発展した広範囲な基盤技術です。これらの基盤技術をボーダーレスに拡大、複合、融合させるとともに幅広い事業展開を行っております。

トヨタ自動車グループには粉末冶金製品、電子材料(絶縁ワニス)、無機製品(カーボンブラシ)、電子部品(配線板)、鉛蓄電池、樹脂成形品などを提供しています。国内の生産拠点は、茨城県、千葉県を中心に44拠点、海外は米国、中国、タイ、インドネシアなどに26拠点あります。研究開発拠点は、タイのデザインセンターを始めとして、国内外に7拠点あり、日立グループ各社および国内外の大学、研究機関、各コンソーシアムとの技術交流を積極的に行い、革新的な技術の創造に向けて多面的に取り組んでいます。

今後は日立化成グループの技術的な強みが発揮できる「自動車・交通インフラ」、「環境・エネルギー」、「情報通信・ディスプレイ」、「ライフサイエンス」、の4事業領域において、事業戦略とCSRの融合を通じてサステイナブルエンジニアリングを推進し、お客様への最適なソリューションの提供を強力に推進していきます。

今回、協豊会に加入させて頂き、テーマ研究部会での活動を通じて快適・環境・省エネ製品の開発を加速させ、トヨタ自動車グループに一層貢献できるように努めてまいります。

今後ともご支援賜りますよう宜しくお願い致します。